

麻生家文書資料紹介(その五) : 「坑夫取締日誌」 (II)

今野, 孝
九州大学大学院経済学研究科

<https://doi.org/10.15017/13684>

出版情報 : エネルギー史研究 : 石炭を中心として. 10, pp.167-170, 1979-03-03. エネルギー史研究会
バージョン :
権利関係 :



麻生家文書資料紹介（その五）

「坑夫取締日誌」（Ⅱ）

今 野 孝

九月一日

一 本日ハ盆十六日ニ付小頭及ヒ坑夫一切入坑ナシ

一 野中取締ハ午前第七時出勤ナス

一 全時坑所巡視異事ナシ

一 福沢・宮柱午前第六時三十分出勤

一 全時坑所巡視ナス

一 宮柱取締トシテ午后十一時各所巡視之際職夫坑夫賭博ナシ居ルヲ

取押ヘタリ

一 白川友吉ナル者平常不勉強ニ付盆貸金ナサマリシモ此后ハ充分勉

強ナスト之事ニ相成リ候ニ付金貳円貸附之儀稟義候処許可ナル

右㊦福沢取締モ同断取行

九月貳日

一 瓜生・武井・栗崎之各小頭午前第五時三十分出勤入坑ナス

一 平野囃操ハ午前第五時四拾分入坑ナス

一 宮柱人操午前第四時操込ヲナス

一 福沢取締ハ午前第三時式十分出勤ス

一 野中午前第六時出勤坑所巡視ス

一 本日之捲始メハ午前第五時三十分ナリ

㊦ 九月三日

一 栗崎・瓜生両小頭ハ午前第五時三十分出勤

一 武井小頭モ同時出勤ス

一 宮柱人操ハ午前第四時出勤ス

一 福沢取締ハ午前第四時出勤ス

一 宮柱・福沢兩人ハ上野久吉取引ノ為メ有安ニ出張種々談判ノ末当

坑ニ引寄稼カスル処ニテ聞得タリ

右㊦

九月四日

一 宮柱人操ハ午前第三時出勤ス

一 福沢取締ハ午前第三時三十分出勤ス

一 昨三日ノ夜午后第十一時頃坑所巡視ノ察片山辰次郎夫婦喧嘩之處

通懸リ程能中際致タリ

一 武井・瓜生・栗崎ノ各小頭ハ午前第五時四十分出勤入坑ス

一 平野囃操ハ午前第三時十分出勤入坑ス

右㊦

九月五日

一 宮柱人操ハ午前第三時ニ出勤ス

一 武井・瓜生・栗崎ノ各小頭ハ午前五時卅分出勤入坑ス

一 平野囃操ハ午前五時四拾分入坑ス

一 本日捲立初メ午前六時廿分也

一 福沢取締ハ午前六時三拾分南尾炭坑白神次一良ニ対スル貸金取引

ニ出張ス㊦

九月六日 晴天

一 平野囃操午前第五時四十分出勤入坑ス

一 福沢取締ハ午前第三時十分出勤ス

一 宮柱人操ハ午前第三時出勤ス

一 捲始メ時間五時四十分ナリ

午前第四時三十分事務長出張ニ相成種々協儀^(イ)凡ソ一時間ナリ
福沢取締ハ昨五日南尾白神ト談判シ次ニ宮ノ浦炭坑ニ至リ木村新
三郎妻由き貸金ノ請求ヲナシ旧八月々来坑シ相稼グ処ニ約シ帰坑ス
此時四時ナリ

瓜生・武井・栗崎各小頭ハ午前第五時五十分出勤入坑ス

藤春六太郎ナル者坑夫志願ナス^(イ)

九月七日 晴天

武井・瓜生・栗崎各小頭ハ午前第五時四十分出勤入坑ス

平野函操ハ五時五十分出勤ス

宮柱人操ハ三時出勤操込ヲナス

福沢取締ハ四時出勤ス^(イ)

九月八日 晴天

宮柱人操ハ午前第三時出勤操込ヲナス

福沢取締ハ午前第三時十分出勤ス

武井・瓜生・栗崎ノ各小頭ハ午前第五時四十分出勤入坑ス

平野函操ハ(※以下空白)

野中取締午前第七時四十分出勤ナス

失野久松ナル坑夫中島ツネナル坑夫ヲ連レ八月七日逃走ス

光安木三・吉積常吉ナ者坑夫志願ス但九月七日

上井種吉ナル坑夫九月八日逃走ス

坑夫福田庄三郎・同人妻カネ・伊藤武雄・勝負定郎・同人妻ナミ

右志願候也

野中取締午後九時坑所巡視ナス

右^(イ)

九月九日 晴天

野中取締午前第六時三拾分出勤ナス

宮柱人操午前第三時操込ナス

本日捲始午前第五時四拾分ナリ

福沢取締ハ午前第三時出勤ス

兼元藤作願ニヨリ退坑許可ス

瓜生・武井・栗崎各小頭ハ午前第五時四十分出勤ス^(イ)

九月十日 晴天

宮柱人操ハ午前第三時操込ヲナス

福沢取締ハ午前第四時出勤ス

瓜生・武井・栗崎ノ各小頭ハ午前第五時五拾分出勤入坑ス

平野函操ハ午前第五時五拾分出勤ス

野中取締ハ午前第六時出勤ナス

捲始メ時間五時四十分ナリ

野中取締九日午后九時坑所巡視ナス

坂田惣平ナル坑夫九月五日逃走候処全人妻残り病身ニ付死亡之恐

レ有ル故九日妻解雇ス

坂本吉太郎・弥田源八・上田寿吉・小川常吉右四人ノ者博奕ヲ取

扱ヒタル察^(イ)巡査福島氏ニ見止メラレ將ニ引行セントスル場合片山辰

次郎ナル者来リ出張ノ儀願タルニ依リ各取締其場ニ至リ種々ノ申立

ヲ為シタルニ巡査ノ曰ク今后若シ惡^(イ)等人有之是ヲ解雇セントスル時

キ是ニ苦情ナキヤ否ヤ其砌リ苦情ナク自分ノ意通り実行出来スル様

承知アルナレバ此度丈ケハ各取締中ニ預クルト云フ事ニナリ答其儀

ト通目違ガワザル者ト思想候得ハ協儀^(イ)ヲナシ解雇スル事モアラント

其処ニテ相片付キタリ次ニ開坑部ニテ右四人ノ者ニ要件ノ為メ以後

訖度相慎ム様説諭ナシタリ^(イ)

九月十一日 雨天

福沢取締ハ午前第參時式十分出勤ス

宮柱人操ハ午前第四時操込ヲナス

野中取締ハ午前六時五十分出勤ナス

一 瓜生・栗崎・武井ノ各小頭ハ午前第五時十分出勤入坑ス
 一 平野 函操ハ午前第五時三十分出勤入坑ス
 一 前田政義ナル坑夫并ニ妻十日夜逃走ナス時間不詳
 一 午前六時四十分事務長当部ニ寄ラレ時候変リニ付衛生予防上談話
 色々アリ午前八時退部アリタリ
 尚清潔掃除ハ本日着手セリ
 一 吉住常吉・光安喜三
 右常吉逃走ス時間不詳 喜三ナル者病氣ニ付当抵全快ノ模様無之ニ
 付解雇ス

㊦

九月十二日 晴天

一 栗崎・武井・瓜生各小頭ハ午前第五時五十分出勤入坑ス
 一 平野 函操午前第五時三十分出勤ス
 一 宮柱・福沢ハ坑夫墨田儀三次逃走ノ憂有之タメ昨十一日午后七時
 ヨリ本日午前五時頃迄夜警ナシ逃走致サマルニ依リ坑所一般納屋廻
 リヲナシタリ
 一 捲始メ時間六時五分ナリ
 一 野中取締午前第六時三十分出勤ナス
 一 野中十一日午后九時坑所巡異事ナシ
 一 午前七時四拾分瓜生事務長当部ニ立寄ラレ衛生予防之談話并ニ婦
 省坑夫募集新坑夫募集ト之協議アリタリ
 一 小野作太郎・全人妻ナカ病氣之為解雇ナス
 一 木村作太郎・同人妻タツ坑夫志願ス
 一 中島茂四郎・全人妻マキ坑夫志願ナス
 一 婦省坑夫ノ見込無キ分十五人ヲ取消退坑ス
 右㊦

九月十三日 晴天

一 福沢取締ハ午前第三時三十五分出勤ス
 一 宮柱人操ハ午前第(空白)操込ヲナス
 一 栗崎・瓜生・武井各小頭ハ午前第五時四十五分出勤入坑ス
 一 平野 函操ハ午前第(空白)出勤ス
 一 島根県岩見国津和南笹ヶ谷佐良ユキ当年十九才ノ者坑夫志願ス
 一 野中取締午前第六時出勤ナス
 一 野中十二日午后十時方全十二時夜警之為巡視ナス
 一 野中・福沢・宮柱之各取締出張ナス
 全日一同帰坑ナス

右㊦

九月十四日

一 瓜生・栗崎・武井之各小頭午前第五時五拾分出勤入坑ナス
 一 平野 函操ハ午前第六時出勤入坑ス
 一 宮柱人操ハ午前第五時出勤ナス
 一 福沢取締ハ午前第三時三十分出勤ス
 一 野中取締ハ午前第六時四拾分出勤ス
 一 本日之捲始メハ午前第六時ナリ
 一 各取締ハ出勤之上納家巡視異事ナシ
 一 宮柱潤野坑出張致ス
 右㊦
 九月拾五日
 一 宮柱人操ハ午前第四時拾分ニ出勤ス
 一 瓜生・武井・栗崎ノ各小頭ハ午前第五時四拾五分ニ出勤入坑ス
 一 福沢取締ハ事故ノ為メ欠勤ナス
 一 本日ノ捲始メハ午前第五時卅五分ナリ
 一 平野 函操ハ六時入坑ス
 一 野中取締ハ午前第六時出勤ナス

野中十四日午后九時坑所巡視異事ナシ

九月十六日 交換

宮柱人操出勤ス

野中取締出勤ス

小頭及平野函操モ出勤ス

福沢取締ハ午后三時帰坑出勤ス

右④

九月十七日

宮柱人操ハ午前第四時出勤操込ヲナス

武井・栗崎・瓜生各小頭・平野函操共前六時出勤ス

福沢取締ハ午前第六時出勤ス

右④

九月十八日

栗崎・武井・瓜生ノ各小頭ハ午前五時四十五分出勤入坑ス

平野函操午前第五時四十分入坑ス

宮柱人操ハ午前第三(空白)時(空白)出勤ス

福沢取締ハ午前第三時三十分出勤ス

瓜生氏午前第五時三十分当部ニ出張相成坑夫従業員中及ヒ逃走坑夫

取引上ノ談咄有六時式十分退部アリタリ

野中取締ハ午前第六時三十分出勤ナス

福沢・野中南尾坑出張ナス午后五時帰坑

九月拾七日 晴天

中島茂四郎妻マキ逃走セシ也

早良ユキ依頼ヨリ解雇ナシタリ

南尾山本荒吉ニ対ル貸金相済タリ

右④

(二五八頁より)

十月

書面大砲之儀は江府江伺中、湊会所取上置候儀ニ布右之外小銃等
も有之候間、何れも伺済之上、追々引渡可申候。其余承届候。

覚

亜米利加船 壹艘 但船号 テイルトン^(註2)

此替りとして

白 蠟 拾四万斤

此代七百貫目

石 炭 八百万斤

此代六百貫目

合 千三百貫目

此金 壹万八千五百貳拾三匁九分九厘

右約定ニ布交易仕候、此段御届奉申上候 以上

(文久元年)

西十月

湊 会 所

入 来 屋 重 平④

『諸家同船御買入御附札御条約外之船渡来達留』

(長崎奉行所記録)

註1 長崎港会所

2 「日華丸は原名シ・エ・チルトンと称し、噸数四百四十
八噸にして千八百五十七年米国ニューヨウクに於て製造せ
られ、原持主はトーマス・ワルスと云ふ。其価格三万三

(以下次号)

(二九四頁へつづく)